

目次

はじめに	
Chapter 1 - 義とされている	-p7
Chapter 2 - 聖なる者とされている	-p13
Chapter 3 - 御霊が内に住まわれる	-p18
Chapter 4 - 愛され、ゆるされている	-p25
Chapter 5 - すべての霊的祝福で満たされている	-p31
Chapter 6 - 神の御守りの中にいる	-p38
Chapter 7 - 永遠のいのちの約束が与えられている	-p45
Chapter 8 - 解放され、自由にされている (パート1)	-p52
Chapter 9 - 解放され、自由にされている (パート2)	-p59
Chapter 10 - 神の協力者として召しが与えられている (パート1)	-p66
Chapter 11 - 神の協力者として召しが与えられている (パート2)	-p72
Chapter 12 - キリストの似姿に変えられていく	-p79
付録 1 - 解答例	-p89
付録 2 - テーマ聖句カード	-p115

はじめに

コリント人への手紙 第二5章17節

「だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。
古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。」

救い主イエス・キリストの愛と赦しを受け入れた私たちは、御霊によってすべてが新しくされました！キリストにある新しいアイデンティティー（自己同一性、自己価値）が与えられました。自己価値とは、自分で決めるものではなく、私たちが創造した神によって与えられるものです。創造主に目的を持って形造られ、愛されて存在している者であると知るとき、その真実は私たちのすべてを変えていきます。キリストにある正しい自己像を認識し、それを自分のものとするなら、最も「私らしく」生きていく道を発見することになります。造られた者が、創造主の意図と最善の目的に沿って歩む時、神の栄光を現すことのできる「あるべき姿」でいることができるからです。

私たち人間は、自分の努力で何かを達成することによって、自己価値を高めようとしがちです。けれども、行動によって自己価値は決められるものではありません。私たちの持つ自己価値が、どのような行動をとるのかを決めるのです。自己中心的な生き方や利己的な愛から解放され、神に喜ばれる生き方を選ぶことができます。反対に、間違った自己価値を持っているなら、本来ある姿を知ることがなく、神が望んでおられる生き方をするのは難しいでしょう。

コロサイ人への手紙2章9-10節

「キリストのうちにごそ、神の満ち満ちたご性質が形をとって宿っています。
そしてあなたがたは、キリストにあって、満ち満ちているのです。」

この箇所にあるように、私たちの霊的な姿は「キリストにあって、満ち満ちて」います！私たちが「救われている」という恵みは、深い真理の奥義—知恵と知識の富—に包まれています（ローマ11章33節、エペソ1章7-9節）。その奥義を知れば知るほど、神の子に与えられている恵みに満ちた特権を理解し、神への信仰と愛、感謝と喜びが深められていきます。（コロサイ1章12節）救われて私たちの霊的な面においてどのような変化が起こったのか、また、神は私たちの人生にどのように働かれるのか、、、これらの発見は、生きた神を知る体験へとつながります。

また、「キリストにある自分」への理解は、あなたと周りの人々の関係にも大きく影響します。誰でも神を知るまでは、自分の個人的な見方でしか自分自身や周りを計れず、自分がよいと思うように生きてきたでしょう。けれども、「あなたは高価で尊い」と語ってくださる神の真理に心を向けているなら、自分に注がれる神の本物の愛で、周りの人を愛することができるようになります。

一般的に、日本人として集団社会の中で育てられたなら、人間関係において賢くやっつけいける協調性が自然と身に付いていきます。けれども、このことによって、「みなが同じでないといけない」、「周りと同じでありたい」、という思考が自然に形成されることが多く、所属するグループ（家庭、サークル活動、学校、職場、社会、等）において見い出される「自分」が、アイデンティティーのすべてになりがちです。「他者と違う」ということに恐れさえ抱き、

自分らしく生きることを理解できない場合も多々あります。属するグループで背負う自分の肩書きと相手の期待に答えるために、自分の本心に仮面をかぶります。ですから、自分の成功や栄誉、大切な人や自分のことを認めてほしい人の評価が自己価値を決めていることも珍しくありません。そのような思考と価値観は染み付いており、クリスチャンとして新しく造られていても、古い性質が変えられていくのには時間がかかるものです。

神が新しいいのちを与えて下さったので、私たちはそのいのちにふさわしい歩みを求めることが大切です。(ローマ6章4節) 神は、私たちの思いも心も変えて下さるお方です。けれども、神が与えようとしておられることを受け止めきれない私たちの罪の性質が存在することもまた事実です。ですから、私たちが神の視点を持つためには、聖霊の働きによる気づき、神の働きを信頼する信仰、そして、古い自分を手放していく決意も必要です。霊的な生活を送っているクリスチャンでも、健全なるセルフイメージについて取り組んでいないならば、罪悪感や、劣等感、後悔、心配や恐れに支配されて生活していることが多いのです。そして、それは、クリスチャンとしての成長を妨げ、サタンによる惑わしや神を疑わせる働きかけへ協力することにもつながるのです。協調性も、他者への配慮ある行動も大切なものです。けれども、常に周りの見方、期待、ペース、あるいは誘惑に合わせているなら、神がすでに与えてくださったあなたの本来の姿にいつまでも気が付くことなく、時はたっしていきます。間違った古い自己像から解放され、神の子どもとしての真実な姿を理解するなら、神に用いられる器として整えられていきます。救いによってもたらされた新しいアイデンティティーについて知り、自分の見方を神の見方に軌道修正していく必要性をまず確認しましょう。

ヨハネの福音書8章31-32節

「もしあなたがたが、わたしのことばにとどまるなら、あなたがたはほんとうにわたしの弟子です。
そして、あなたがたは真理を知り、真理はあなたがたを自由にします。」

聖書には、神について、また神のみこころについて私たちが知るべきことが書かれています。神は、新しく造り換えられた者達がキリストの似姿へと変えられ、キリストの弟子として成長していくように願われています。クリスチャン生活とは、神との個人的な関係を深めていくプロセスであり、キリストの弟子として成長していくことです。そして、霊的に成長していくためには、主なるイエス・キリストの言葉にとどまり、真理を知ることが必要不可欠です。神が与えて下さる真理が、私たちが本当の意味で自由にするからです。この神の言葉を学ぶことによって、救いを受けた「神の子」がどのように特権に満ちたものであるのか知ることができます。

私たちに常に語りかける生きた御言葉を学び、「神の子」としてのアイデンティティーに秘められている偉大な真実を受け取っていきましょう。「キリストにあるあなた」に関する神の真理を学び、絶対なる神の視点を身に付けていきましょう。キリストのうちに見出すアイデンティティーをしっかりと握ることによって、神が私たちに願っておられる生き方を発見できます。そしてそれは、神への愛ゆえに生きる積極的な信仰を生み出し、永遠の御国へと続く宝を得ることになるのです。聖霊なる神が、あなたの心に働き、御言葉の真理を体験していくことができますように。これからの学びを通して、主があなたに語り、あなたの神についての、また自分自身についての見方を真実に沿ったものへと整えて下さるように期待して祈ります。